

働く者の相談室ひろしま
〒732-0057 広島市東区二葉の里 1-3-16 吉村ビル 3階
☎ 082-262-3751 Eメール roso34@ybb.ne.jp
ホームページ <http://www.geocities.jp/rososhi>

研修生・実習生制度を考える 6人の中国人実習生を迎えて

7.14 広島交流会開く

豪雨で交通が寸断された7月14日、労働相談ひろしまの今期第1回（通算17回）目の学習会が、19名が参加して広島市東区地域福祉センターで開かれた。6月15日に未払い賃金などの支払いを求めて広島地裁に提訴した中国人研修・実習生6名が報告に立ち、「現代の奴隷制」と言われる外国人研修制度に対する学習を深め、参加者は今後の制度撤廃に向けた決意を固めあった。

安佐南区の「金属加工」会社が、今回の問題企業だ。「送り出し機関」と言われる中国の「手配師組織」に「保証金」として6万元（日本円で90万円）を払う。半額が返金されるとなっているが、本人責任が生じた際は全額が取り上げられる。親戚縁者からの借金が元手となる。

日本では、「受け入れ機関」なる組織で配属企業と職種が勝手に決められる。会社に来て行かれ、簡単な面接の後には、民間アパートが入居先となる。狭い部屋で集団生活を強いられるだけではなく、三年間はそのアパートから転居不可で、居住費は彼女たちの負担となる。パスポートは取り上げられ、外出もできず、24時間の監視にさらされる生活が始まる。

一年間の研修期間は、労働基準法が適用されない。技能研修が建前だが、単純な携帯電話の部品加工に就かされ、年間700時間を越える残業をさせられながらも一円も支払われず、「研修費」と称する月6万円前後がすべてで、これさえも15,000円しか支払われず極貧生活を強いられた。もっとも良心的とされる企業ですら、残業代として400円程度が支払われるに過ぎない。

試験にパスし二年間の実習生になれば労基法が適用されるものの、その賃金は最賃スレスレであり、残業付加や休日労賃がともに支払われるケースの方が少ない。会社は免除されているはずの「国民年金保険料」の名目で掛金を詐取し、また家賃6万円のところを10万円あまり余計に取り、彼女たちのあずかり知らない銀行通帳を勝手に作られ、本来の仕事とは別にマンションのクリーニング作業に就かされている。等々

期間満了が近づき彼女たちが一連の不払い・課徴金の支払いを求めたところ、会社は「強制帰国」をチラつかせつづけてきた。これが最大のウィークポイントとなるが、金を取り戻せず帰国させられると、貯金もできず保証金も返金されないの、彼女たちは必死で諸方面に助けを求めた後にスクラムユニオンに行き着いた。こうした不法行為を許すわけにはい

かない。団交を行い不払いなど総額1800万円を要求した。会社は6名の解雇で応えた。その背後に今回の受け入れ機関の「アジア経済交流協同組合」が控えている。自主交渉による解決が好ましいのだが、裁判提訴も止むなしとなった。裁判に注目し、支援をと締めくくった。

会社では日本人社員5名が辞めたのに、補充はなく研修生の2名でこなし。機械が故障しても修理せず、手作業でやらざるを得なかった。健康診断すら全くやっていない。毎晩4時間も残業したのに、残業代を払わない。アパートには使い古しの布団や電化製品が置かれ、これで生活させられた。冷暖房はなく、風邪を引いて初めてコタツを出した。なけなしの稼ぎを中国に送金したいと言っても「ダメだ」といわれた。

参加者からは、研修生に応募した動機、送り出し機関とはどういうものか、その約束を信じたのか、元・現研修生間の連絡はあるのか、の質問や、中国の政府・党の人々に実態を知らせ、こうした制度を止めさせるよう努力したい、などの意見が出された。

研修生支援全国ネットの活動の連携が不可欠だろう。相談室も引き続き取り組みを強化しながら、社会問題に押し上げていく努力を傾注したい。7月21日の裁判で彼女たちの陳述が行なわれる。その訴えを無に帰してはならない。翌日には帰国する。連絡を密にしながらも、日本での闘いを私たちの責任において勝利につなげていこう。と集約した。



最近の相談事例から

区分	相談内容	対応&結果
解 雇	中国から研修生として来日したが、途中解雇（7 ヶ月）となってしまった。損害賠償を請求したい。 ＜非正規の中国人男性＞	協同組合との交渉を通じて、別会社での研修継続を目指す。
	仕事がないので解雇（帰国）を言われる。6 月分の給料と研修手当 2 か月分を要求したい。 ＜非正規の中国人男性＞	スクラムユニオンに加盟、通知書と団交要求書を送ったら、金を支払ってきて、本人は帰国。
	営業成績不良を理由に、会社を辞めるよう毎週呼び出されて、嫌がらせを受けている。 ＜広告社勤務の正規男性＞	会社に団交を申し込む。
賃 金	①研修生時代の残業代を 1 円ももらっていない（一人約 60 万円の未払い）。②国民年金が全額免除になっているのに給料から引かれていた。③6 万円のアパートに 6 人で住んでいるが、家賃が一人 28,000 円も引かれている。 ＜中国からの女性研修生 6 人＞	3 回団交を行ったが、会社は「残業はなかった」と主張。支払う意思がないため裁判を起こして闘うことに。
	① 残業代や宿直費がきちんと支払われていない。②基本給 22 万円を 12 万円に切り下げよう会社から要求されている。 ＜H セレモニーで働く男性 正規＞	スクラムユニオンの分会を結成し団交。残業代を要求し、基本給きりさげには同意しないことを通告。
	研修生時代の残業代が支払われていない。支払われるまで帰国しない。中国新聞社にビザが切れる 1 日前に訴える。 ＜非正規の中国人男性二人＞	入管でビザを 2 週間ずつ 2 回延長してもらい、会社と交渉。
	残業代がともに支払われていない。 ＜（株）M で働く非正規の中国人男性 9 人＞	スクラムユニオンの分会を結成して団交を行う。
	永年勤めているが、給料計算がおかしい。基本給と歩合給の混合給料となっているが、実質は歩合給のみなので、給料計算がごまかされている。 ＜タクシー会社の男性 正規＞	会社と交渉の後、再度相談。
休 暇	勤務が週 5 日から週 2 日に減らされ退社。生活費が底をついて生活できない。（年金は月 5 万円ほど） ＜警備会社に非正規で勤めていた 65 歳の男性＞	生活保護を勧めたが、自宅が自分のもので売却したくない。当座資金援助を受けられないか、相談に行く。
	①有休を申請したいが、会社が出さないといっている。②労災の対応もはっきりしない。 ＜非正規のブラジル人男性＞	①有休の申請を出させ、会社と団交の予定。②労災は必要書類を集めて対応中。
労 災	労災の申請方法がわからない。 ＜非正規のブラジル人男性＞	5 号様式と 8 号様式の書き方を教え、手渡す。
	良性石綿胸水で労災認定を受けたが、その後胸水がなくなり、療養費、休業補償が不支給となってしまった。 ＜正規の男性＞	労働局へ審査請求を提出。
	スクラムユニオンに加盟したい。労災の申請（振動病）をしたい。 ＜非正規の男性＞	スクラムユニオンに加盟。労災申請書を作成。
その他	組合を作りたい。給料体系や自動車保険の労働者負担などを改善したい。 ＜H タクシーの正規男性＞	スクラムユニオンに加盟し、22 名で分会を結成
	社内の同僚とのイザコザに上司が対応できず、配転して事を納めようとしているが、納得できない。 ＜非正規の女性＞	団交の予定

労働相談ホットライン 開催のお知らせ

- と き 9 月 11 日（土）・12 日（日）10:00～18:00
- 主 催 労働相談ひろしま、スクラムユニオン・ひろしま、労働相談くれ、福山ユニオンたんぽぽ